



## 勉強の秋 ～勉強を好きにさせる七カ条～

学校長

「好きこそものの上手なれ」という言葉があります。将棋で有名な藤井聡太さんを例にすれば、大好きだったからこそAIを使ってどんどん強くなり、さらに好きになられたのだと想像します。ニワトリとタマゴのような関係ですが、勉強好きな子どもにしたいという願いとともに子どもは勉強が分かりたいという願いをもっています。

### 1 認めて、ほめよう

ほめられる→自信をもつ→やる気を起こす→上達する このスパイラルに入ることです。中学生にもなるとタイミングが難しくなりますが、小学生の今なら大げさにほめるぐらいが丁度よいかもしれません。

### 2 他人と比べず、自分と比べさせよう

とにかく順位というのは気になるものですが、自分の力が上達したかどうか大切です。水泳や陸上競技では自己ベストです。努力が成果となった瞬間が人を育てます。

### 3 Oを先に、Xはあとでみよう

子どもの努力、苦心を心から分かって欲しいのです。その後に成長するための改善点を考えると効果的です。

### 4 勉強は時間で計らず、集中力で計ろう

机に向かうことも必要ですし、時間をかけることも大切ではありますが。「時間」だけにこだわると、マンガ横目に机に向かうということが、私の反省も含め、あるように感じます。

### 5 家庭は休息の場でもあります

家族の団らん、休息が一日の疲れをいやし、明日への活力を生むことは、大人も同じです。テレビやゲームにはない、明日への活力をつくるのはやはり家族の会話や絆のようです。

### 6 子どもの可能性を信じよう

子どもの一年間の成長はすごく大きなものです。少しぐらいの浮き沈みに一喜一憂するのではなく、がんばる子どもたちに夢を話したいものです。

### 7 リズムある生活で、頭が活発に動く

まだまだ他にも大事なことはありますし、教科によって細かな点もあるでしょう。勉強を好きになることは、ただ学力向上につながるだけではありません。子どもの問題行動から守る一番の決め手でもあります。



## 読書の秋



8時15分、双葉小学校の一日は、朝の読書から始まります。一人一人が、自分で選んだ本を読みます。物語、伝記、科学、歴史など、子どもたちの選ぶ本は様々です。集中して本を読むことで、学校全体が、しんと静まりかえり、落ち着いて一日のスタートを切ることができます。また、水曜日は、図書委員会の子どもが読み聞かせをしたり、Miraie（西脇市図書館）から読み聞かせに来ていただいたりすることもあります。読書の習慣を身に付けることは、子どもたちの知識を広げ、考える力を伸ばし、豊かな人間性を育てることにつながります。



さて、秋は「読書の秋」という言葉通り、読書を楽しむのに最適な季節です。本校では、今年も読書週間として、11月1日（月）～11月5日（金）に「消テレビ・消ゲームで読書にチャレンジ！」を実施します。子どもたちが、家庭でもたくさんの本に出会い、読書を楽しむことができるように、ご協力をお願いします。

ご家族の皆さんも一緒に読書を楽しんでみられてはいかがでしょうか。

# 11月のこよみ

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
登校指導 読書週間（～5日）		文化の日	マラソン前健診 歯科健診	集金日		
8	9	10	11	12	13	14
委員会活動	食育授業(4年)	みどり園見学 (4年) 学習クラブ 15:10 下校	修学旅行(6年)	→		市陸上大会 (希望者のみ)
15	16	17	18	19	20	21
	朝の駆け足開始	14:40 下校				
22	23	24	25	26	27	28
社会見学旅行 (2・3年：グリコピ ア神戸、明石魚の棚)	勤労感謝の日	フリートーク 14:40 下校		特認校体験入学		
29	30					
	里山整備 (栗園：全校生)					

## 運動会

10月9日、「心を一つに ～仲間信じて 全力、笑顔～」をテーマに、令和3年度の運動会を実施しました。保護者・地域の皆様には、励ましのお言葉や、演技へのご参加など、大いに盛り上げていただき、本当にありがとうございました。また、準備・片付けについてもご協力いただき、併せてお礼申し上げます。

今年の応援合戦も例年のように5・6年生が中心となり内容を考えました。1学期から台本を考え、計画的に準備をしていく姿は、下級生の憧れや目標になっていました。本番では、赤・白共に様々な工夫がなされ、見ている側を楽しませてくれました。練習では、5・6年生が優しく言葉がけをしたり、分かりやすいジェスチャーを交えて教えてあげたりするなど、年々5・6年生の教え方が上手になっていることも感じます。このような、応援合戦の練習方法は下級生へと受け継がれていくことでしょう。今後の学校生活や行事においても、全校生みんなが、相手を思いやる気持ちを大切にして取り組んでくれることを期待しています。

これからも、地域の皆様には、子どもたちの成長とがんばりを温かく見守っていただければと思います。

